

## 平成19年度 学校評価総括表

1 学校の概要			
学 校 名	山口県立佐波高等学校	校 長 名	中 垣 謙 司
生 徒 数	97人	学 科	普通科、普通科福祉コース

2 教育目標
<p>教育目標…親和協力の校訓のもと、心身ともに健やかで、豊かな人間性と主体性をもち、広く社会に貢献できる人物を育成する。</p> <p>中・長期目標…基礎学力の定着及び基本的生活習慣の確立、人間関係づくりを基盤にしたコミュニケーション能力の育成</p> <p>チャレンジ目標…時間とルールを守る習慣づくり</p>

3 年度当初の課題
<p>① 基本的生活習慣の未確立及びコミュニケーション能力の不足から、人間関係の構築が難しく問題行動を起こす傾向が見受けられるため、生徒指導と教育相談の連携協働体制の確立を図る。</p> <p>② 中学校段階までの学力が身に付いておらず高校卒業後の進路意識が薄い生徒が多いため、基礎学力の定着に向けての方策及び高校3年間を見通したキャリア教育の充実を図る必要がある。</p> <p>③ 地域に愛される学校として、開かれた学校づくりに向けた組織的な取組を進める。</p>

4 課題解決に向けての取組とその成果
<p>① 県指定「人間関係づくり実践プロジェクト」に基づいて、プロジェクトアドベンチャー（PA/AFPY）にかかる校外研修を3回（実践リーダー講習会2回、授業公開参加1回）、校内研修を3回（講師と本校教員のTT、本校教員による公開授業）実施した。また、1学年を対象に、秋吉台芸術村コンサート鑑賞・国立徳地青少年自然の家におけるアドベンチャーコース体験を実施し、入学以降のスムーズな人間関係づくりに取り組んだ。その他、教育相談活動を充実させるため、校内委員会を見直し、生徒指導・教育相談委員会を設置することで、個々の生徒に関わる問題や課題を両分掌で検討し、生徒部と教育相談部の連携協力を推進した。</p> <p>② 個々の生徒の興味・関心や能力、進度に合わせた学習を展開するため、数学と英語において少人数指導や習熟度別指導を導入するとともに、専門科目や実技系科目を中心にティームティーチングを導入し、きめ細かな指導を行った。また、授業研究の推進にあたり、授業評価・学校評価の年2回実施、教育課程検討委員会による教育課程やわかる授業づくりについての検討、各教科年1回以上の研究授業の実施、県外先進校や近隣学校への学校訪問の実施及びその成果の共有等を行った。</p> <p>③ 公開授業を、保護者、学校評議員、徳地中学校、及び山口市・防府市内の高等学校を対象に、延べ10日間設定した。ボランティア活動については新聞の地域欄に取り上げられるなど、延べ年間24回に及ぶ様々な活動を行った。また、昨年まで一般公開していなかった文化祭を一般公開することにより、地域の人々との交流が進んだ。その他、地元の中高連携教育推進の一環として、徳地中学校の生徒・保護者・教職員を対象に本校に求める学校像のアンケート調査を実施した。</p>

5 次年度に向けての主な課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標の具現化に向けた学校行事の計画的な運営を進める。</li> <li>・人間関係づくりを基盤にしたコミュニケーション能力の育成を図りながら、基本的生活習慣の確立、規範意識の高揚に向けた指導を継続する。</li> <li>・基礎学力の定着及び学力の向上は次年度も継続して取り組むとともに、キャリア教育の一貫性・系統性を高め、学校全体の取組としての充実を図る。</li> <li>・地域でボランティア活動する場を設定して、豊かな人間性と主体性の育成に努めるとともに、報道機関の活用や学校HP等の充実を通して本校の取組の情報発信に努め、開かれた学校づくりを積極的に進める。</li> </ul>